

平成 2 0 年度

青梅市病院事業決算審査意見書

青梅市監査委員

写

青 監 第 2 9 号

平成 2 1 年 8 月 2 5 日

青梅市長 竹 内 俊 夫 様

青梅市監査委員 小 澤 英 喜
同 榎 戸 直 文

平成 2 0 年度青梅市病院事業決算審査意見について

地方公営企業法（昭和 2 7 年法律第 2 9 2 号）第 3 0 条第 2 項の規定により審査に付された平成 2 0 年度青梅市病院事業決算について、別紙のとおり意見を付します。

以 上

	目	次
第 1	審査の概要	1
1	審査の期間	1
2	審査の場所	1
3	審査の手續	1
第 2	審査の結果	1
1	決算諸表について	1
2	経営状況について	1
(1)	経営成績	1
(2)	収 益	3
(3)	費 用	6
(4)	患者に対する収益と費用	8
(5)	科別患者数・診療収益および病床利用状況	8
(6)	地域別病院利用状況	1 2
3	財政状況について	1 3
(1)	資産、負債および資本状況	1 3
(2)	資本的収支不足額の補てん状況	1 4
(3)	財務比率	1 5
4	建設改良事業について	1 6
(1)	建物および付帯設備工事	1 6
(2)	固定資産購入	1 6
第 3	要望等事項	1 7
	【別 表】	
1	比較損益計算書	2 0
2	比較貸借対照表	2 2

平成20年度青梅市病院事業決算審査意見書

第1 審査の概要

- 1 審査の期間 平成21年6月2日から平成21年8月13日まで
説明の聴取 平成21年7月17日
- 2 審査の場所 青梅市立総合病院および青梅市監査事務局
- 3 審査の手続

この決算審査に当たっては、市長から提出された決算関係書類が病院事業の経営成績および財政状況を適正に表示しているかどうかを検証するため、会計帳票・証拠書類の照合等、通常実施すべき審査を行ったほか、必要と認めたその他の審査を実施した。

また、経営内容を把握するため、計数の分析を行い、経済性および効率性の発揮ならびに公共性の確保を主眼として考察した。

第2 審査の結果

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法および関係法規に準拠し、病院事業の経営成績および財政状況を適正に表示しているものと認められる。

なお、消費税にかかる経理は、予算は税込み、決算は税抜きで処理することとなっているため、決算諸表等は税抜きとなっている。

2 経営状況について

(1) 経営成績

当事業年度における病院事業の収益的収支の決算額は、総収益155億7,774万1,904円に対し、総費用152億8,000万8,934円で、差引き2億9,773万2,970円の純利益が生じた。

経営成績の推移を見るための年度別収益的収支決算状況は、次表のとおりである。

年度別収益的収支決算状況

(単位:円、%)

区 分		20 年 度	19 年 度	18 年 度
総 収 益	決 算 額 (A)	15,577,741,904	15,073,640,250	15,113,452,492
	医 業 収 益	13,630,853,798	13,515,675,789	13,297,916,684
	医業外収益	1,899,385,645	1,502,303,139	1,771,775,781
	特別利益	47,502,461	55,661,322	43,760,027
	(A)の対前年度増減率	3.3	0.3	0.1
	(A)のうち			
	補 助 金 (B)	787,730,000	756,712,000	847,926,000
	他会計負担金 (C)	653,411,000	592,491,000	567,150,000
	計 (B)+(C) (D)	1,441,141,000	1,349,203,000	1,415,076,000
	(D)が決算額に占める割合 (D)/(A)	9.3	9.0	9.4
(D)の対前年度増減率	6.8	4.7	0.0	
総 費 用	決 算 額 (E)	15,280,008,934	14,879,067,469	14,822,091,217
	医 業 費 用	14,264,138,588	13,799,314,466	13,775,202,726
	医業外費用	965,520,935	1,003,939,799	977,785,653
	特別損失	50,349,411	75,813,204	69,102,838
	(E)の対前年度増減率	2.7	0.4	0.4
差 引 純 利 益 (A) - (E)		297,732,970	194,572,781	291,361,275

詳細は、別表1比較損益計算書を参照

病院事業の経済性を評定するため、経済比率を算出すると、次表のとおりである。

経 済 比 率

(単位：%)

区 分	20 年 度	19 年 度	18 年 度	全国平均 (19年度)	算 式
経 営 資 本 医 業 利 益 率	3.1	1.5	2.5	6.8	$\frac{\text{医業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
経 営 資 本 回 転 率 (回)	0.664	0.709	0.695	0.526	$\frac{\text{医業収益}}{\text{経営資本}}$
医 業 収 益 医 業 利 益 率	4.6	2.1	3.6	12.9	$\frac{\text{医業利益}}{\text{医業収益}} \times 100$

経営資本医業利益率は、事業の経済性を総合的に表示するための目安となるが、3.1%であり、前年度に比べ1.6ポイント低下している。

経営資本回転率は、事業における経営資本がどれだけ利用されたかを示す指標であり、他面において投資された資本量が適正であったか否かを検討する尺度となるものである。当年度は0.664回で前年度に比べて0.045回下回っている。

医業収益医業利益率は、4.6%であり、前年度に比べて2.5ポイント低下している。

(2) 収 益

総収益の決算額 155 億 7,774 万 1,904 円を前年度と比較すると 5 億 410 万 1,654 円 (3.3%) の増加である。

なお、総収益の内訳は、次表のとおりである。

病 院 事 業 収 益 の 内 訳

(単位：円、%)

区 分	20 年 度		19 年 度		増 減 率
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	
病院事業収益	15,577,741,904	100.0	15,073,640,250	100.0	3.3
医業収益	13,630,853,798	87.5	13,515,675,789	89.7	0.9
医業外収益	1,899,385,645	12.2	1,502,303,139	9.9	26.4
特別利益	47,502,461	0.3	55,661,322	0.4	14.7

また、病院事業収益のうち主要な医業収益の決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

医 業 収 益 比 較 表

(単位：円、人、%)

区 分		20 年 度	19 年 度	増 減 額	増 減 率
入 院 収 益	金 額 (ア)	8,137,323,333	7,997,293,753	140,029,580	1.8
	延べ入院患者数 (イ)	165,439	169,627	4,188	2.5
	患者1人1日 当たり収益 $\frac{(ア)}{(イ)}$	49,186	47,146	2,040	4.3
外 来 収 益	金 額 (ウ)	5,232,454,509	5,256,205,077	23,750,568	0.5
	延べ外来患者数 (エ)	323,744	333,957	10,213	3.1
	患者1人1日 当たり収益 $\frac{(ウ)}{(エ)}$	16,162	15,739	423	2.7
その他医業収益(オ)		261,075,956	262,176,959	1,101,003	0.4
計(ア)+(ウ)+(オ)		13,630,853,798	13,515,675,789	115,178,009	0.9

入院収益は、延べ入院患者数が減少したものの、患者1人1日当たり収益が2,040円(4.3%)増加したことにより1億4,002万9,580円(1.8%)の増加となっている。

外来収益は、患者1人1日当たり収益が423円(2.7%)増加したものの、延べ外来患者数が減少したことにより、2,375万568円(0.5%)の減少となっている。

医業外収益について、科目別の決算額を前年度と比較すると、次表のとおりである。

医 業 外 収 益 比 較 表

(単位：円、%)

区 分	20 年 度	19 年 度	増 減 額	増 減 率
受取利息配当金	1,510,722	1,293,020	217,702	16.8
他会計補助金	0	0	0	-
補 助 金	787,730,000	756,712,000	31,018,000	4.1
他会計負担金	653,411,000	592,491,000	60,920,000	10.3
引当金取崩し 収 入	298,599,407	0	298,599,407	皆増
基金取崩し 収 入	0	0	0	-
患者外給食収益	217,152	217,152	0	0.0
そ の 他 医 業 外 収 益	157,917,364	151,589,967	6,327,397	4.2
計	1,899,385,645	1,502,303,139	397,082,506	26.4

当年度の医業外収益のうち増加額の大きな項目は、引当金取崩し収入 2 億 9,859 万 9,407 円 (皆増) である。

特別利益については、前年度に比べて 815 万 8,861 円 (14.7%) 減少し、4,750 万 2,461 円である。これは、主に過年度損益修正益が 717 万 9,826 円 (13.1%) 減少したためである。

社会保険診療報酬審査減の状況は、次表のとおりである。

診療報酬請求と審査減の状況

区 分		20 年 度	19 年 度	18 年 度
請 求	件 数	230,673	232,647	230,260
	点 数	1,283,879,450	1,258,396,984	1,230,233,008
審 査 減	件 数	4,251	5,473	7,056
	点 数	1,698,279	1,972,810	2,373,219
請 求 に 対 す る 審 査 減 の 割 合 (%)	件 数	1.84	2.35	3.06
	点 数	0.13	0.16	0.19

病院事業収益の中心は、診療報酬であり、医療機関が保険者に請求するものであるが、社会保険診療報酬支払基金等の審査委員会の審査を経て収入されるもので、同委員会の査定により減点されることがある。

当年度の審査減は、総請求点数 12 億 8,387 万 9,450 点に対し 169 万 8,279 点で、前年度と比較すると 0.03 ポイント改善し、0.13%の減点割合となっている。

(3) 費 用

総費用の決算額は、152 億 8,000 万 8,934 円で、別表 1 の比較損益計算書のとおりである。

この決算額を前年度と比較すると、4 億 94 万 1,465 円 (2.7%) の増加となっている。

これを費用の構成から見ると、医業費用が 142 億 6,413 万 8,588 円 (総費用に占める割合が 93.4%)、医業外費用が 9 億 6,552 万 935 円 (同 6.3%)、特別損失が 5,034 万 9,411 円 (同 0.3%) となっている。

これらの費用を前年度と比較し、分析すると次のようになる。

医業費用については、前年度に比べて 4 億 6,482 万 4,122 円 (3.4%) の増加となっている。これは、減価償却費が 7,758 万 3,507 円(8.5%) 減少したものの、給与費が 3 億 9,478 万 433 円(6.3%)、資産減耗費が 1 億 893 万 5,203 円(423.2%) 増加したことなどによるものである。

医業外費用については、前年度に比べて 3,841 万 8,864 円 (3.8%) の減少となっている。この主な要因は、雑損失が 5,060 万 21 円(14.5%) 増加したものの、支払利息が 4,709 万 5,271 円(18.4%)、引当金繰入費用が 4,193 万 4,000 円(10.5%) 減少したためである。

特別損失については、前年度に比べて 2,546 万 3,793 円(33.6%) の減少となっている。これは、主に過年度損益修正損が 2,486 万 9,911 円 (33.1%) 減少したためである。

総費用を性質別に区分し、これを前年度と比較すると、次表のとおりである。

性質別費用および構成比較表

(単位：円、%)

区 分	20 年 度		19 年 度		増減率	全国平均 構 成 比 (19年度)
	金 額	構成比	金 額	構成比		
給 与 費	6,617,302,325	43.3	6,222,521,892	41.8	6.3	45.9
支 払 利 息	208,911,619	1.4	256,006,890	1.7	18.4	2.7
減 価 償 却 費	833,596,542	5.4	911,180,049	6.2	8.5	6.6
修 繕 費	161,306,670	1.1	211,618,454	1.4	23.8	0.9
医 療 材 料 費	4,669,577,941	30.6	4,626,433,520	31.1	0.9	21.0
給 食 材 料 費	108,508,954	0.7	105,917,431	0.7	2.4	0.6
そ の 他	2,680,804,883	17.5	2,545,389,233	17.1	5.3	22.3
計	15,280,008,934	100.0	14,879,067,469	100.0	2.7	100.0

この性質別費用の構成比率を見ると、減価償却費が 0.8 ポイント、医療材料費が 0.5 ポイント、支払利息と修繕費が 0.3 ポイントそれぞれ構成比率を下げっており、給与費が 1.5 ポイント、その他が 0.4

ポイント構成比率を上げている。なお、給食材料費は前年度と同率である。

(4) 患者に対する収益と費用

入院・外来患者1人1日当たりの収益と費用とを比較すると、次表のとおりである。

患者1人1日当たり収益・費用比較表

(単位：円)

区 分	20 年 度	19 年 度	増 減 額	全 国 平 均 (19年度)		
				全 体	同 規 模	
収 益 (A)	27,865	26,839	1,026	20,706	25,525	
診 療 収 益	入院	49,186	47,146	2,040	35,885	44,797
	外来	16,162	15,739	423	9,683	11,177
	計	27,331	26,318	1,013	19,408	24,094
費 用 (B)	29,159	27,402	1,757	23,373	27,589	
利 益(損 失) (A) - (B)	1,294	563	731	2,667	2,064	

(5) 科別患者数・診療収益および病床利用状況

科別の患者数および1人1日当たり診療収益の状況は、次表のとおりである。

科別患者数および1人1日当たり診療収益の状況

(単位:人、%、円)

区 分	実 績					指 数 (延べ患者数)			
	20 年 度		1人1日 診療収益	延べ患者数		20年度	19年度	18年度	
	延べ患者数	構成比		19年度	18年度				
入 院	内 科	4,185	2.5	35,432	4,312	4,899	114.3	117.8	133.8
	呼 吸 器 内 科	19,982	12.1	34,742	21,970	19,491	93.8	103.1	91.4
	消 化 器 内 科	15,495	9.4	37,011	15,245	14,167	102.1	100.5	93.4
	循 環 器 内 科	17,210	10.4	88,971	16,405	14,940	110.6	105.4	96.0
	神 経 内 科	5,271	3.2	37,534	6,581	7,985	65.6	81.9	99.3
	腎 臓 内 科	6,055	3.7	37,261	5,461	5,826	86.4	77.9	83.1
	内 分 泌 糖 尿 病 内 科	3,226	1.9	31,673	3,630	5,098	46.7	52.5	73.7
	血 液 内 科	8,555	5.2	55,824	8,801	10,659	84.6	87.0	105.3
	外 科	16,330	9.9	50,089	16,583	20,276	68.5	69.6	85.1
	脳 神 経 外 科	7,871	4.7	56,298	7,218	6,372	92.5	84.9	74.9
	呼 吸 器 外 科	1,063	0.6	74,640	1,325	1,112	119.4	148.9	124.9
	心 臓 血 管 外 科	2,924	1.8	157,404	2,822	3,218	101.9	98.4	112.2
	整 形 外 科	12,041	7.3	42,738	11,760	15,019	77.3	75.5	96.4
	産 婦 人 科	13,213	8.0	55,310	14,911	15,965	83.3	94.0	100.7
	皮 膚 科	244	0.1	34,737	214	98	208.5	182.9	83.8
	泌 尿 器 科	4,994	3.0	43,141	4,043	5,070	110.9	89.7	112.5
	小 児 科	7,554	4.6	36,981	8,060	7,761	114.6	122.3	117.7
	眼 科	1,274	0.8	57,257	1,147	1,013	120.8	108.7	96.0
	耳 鼻 い ん こ う 科	3,064	1.9	44,492	2,259	2,761	73.7	54.3	66.4
	精 神 科	12,151	7.3	188,823	14,890	15,243	84.1	103.0	105.4
	放 射 線 科	0	-	-	0	0	-	-	-
	リハビリテーション科	0	-	-	0	0	-	-	-
	歯 科 口 腔 外 科	244	0.1	39,632	329	238	283.7	382.6	276.7
	救 急 科	2,493	1.5	76,323	1,661	1,823	169.5	112.9	123.9
	計	165,439	100.0	49,188	169,627	179,034	88.1	90.3	95.3
	外 来	内 科	10,525	3.3	19,482	9,807	10,430	90.7	84.5
呼 吸 器 内 科		15,533	4.8	25,224	15,262	13,412	104.9	103.0	90.5
消 化 器 内 科		20,474	6.3	20,413	19,913	17,412	131.2	127.6	111.6
循 環 器 内 科		25,333	7.8	24,243	25,263	22,725	116.0	115.7	104.1
神 経 内 科		5,581	1.7	14,743	6,013	5,754	97.9	105.5	100.9
腎 臓 内 科		17,393	5.4	30,972	19,856	22,637	74.3	84.8	96.7
内 分 泌 糖 尿 病 内 科		12,756	3.9	30,258	16,793	19,279	62.8	82.6	94.8
血 液 内 科		6,454	2.0	40,770	5,894	6,108	107.2	97.9	101.4
外 科		21,124	6.5	29,886	21,737	21,318	96.6	99.4	97.5
脳 神 経 外 科		6,054	1.9	13,556	6,486	6,561	84.0	90.0	91.1
呼 吸 器 外 科		530	0.1	15,648	502	547	102.3	96.9	105.6
心 臓 血 管 外 科		997	0.3	24,262	1,063	1,013	108.1	115.3	109.9
整 形 外 科		14,342	4.4	7,928	14,988	18,023	74.9	78.3	94.2
産 婦 人 科		19,235	5.9	13,989	21,807	20,859	89.2	101.1	96.7
皮 膚 科		11,878	3.7	3,796	12,380	12,612	84.8	88.4	90.1
泌 尿 器 科		15,093	4.7	14,495	16,458	18,087	77.6	84.6	93.0
小 児 科		24,191	7.5	11,154	24,143	24,420	103.7	103.5	104.7
眼 科		18,089	5.6	5,667	17,049	16,617	100.2	94.4	92.0
耳 鼻 い ん こ う 科		15,033	4.6	5,688	14,555	15,667	92.7	89.8	96.6
精 神 科		22,591	7.0	10,064	24,586	22,635	108.6	118.2	108.8
放 射 線 科		7,350	2.3	6,225	8,475	6,256	92.7	106.8	78.9
リハビリテーション科		16,118	5.0	147	13,928	18,372	84.4	73.0	96.2
歯 科 口 腔 外 科		4,375	1.4	6,642	4,520	4,769	88.3	91.2	96.2
救 急 科		12,695	3.9	14,173	12,479	11,577	115.6	113.6	105.4
計		323,744	100.0	16,167	333,957	337,090	93.7	96.7	97.6

指数値は、平成17年度を100としたもので、1人1日診療収益は、消費税込みの数値である。

入院患者数は、16万5,439人（1日平均453.3人）で、前年度に比べて4,188人（2.5%）減少した。

外来患者数は、32万3,744人（1日平均1,332.3人）で、前年度に比べて10,213人（3.1%）減少した。

これを診療科別に見ると、入院で増加した科は、泌尿器科が951人（23.5%）、救急科が832人（50.1%）、循環器内科が805人（4.9%）、耳鼻いんこう科が805人（35.6%）、脳神経外科653人（9.0%）などの11科である。

これに対して、減少した科は、精神科が2,739人（18.4%）、呼吸器内科が1,988人（9.0%）、産婦人科が1,698人（11.4%）、神経内科が1,310人（19.9%）、小児科が506人（6.3%）などの11科である。なお、放射線科とリハビリテーション科の入院患者は0人である。

一方、外来で増加した科は、リハビリテーション科が2,190人（15.7%）、眼科が1,040人（6.1%）、内科が718人（7.3%）、消化器内科が561人（2.8%）、血液内科が560人（9.5%）などの11科である。

これに対し、減少した科は、内分泌糖尿病内科が4,037人（24.0%）、産婦人科が2,572人（11.8%）、腎臓内科が2,463人（12.4%）、精神科が1,995人（8.1%）、泌尿器科が1,365人（8.3%）などの13科である。

患者1人1日当たりの診療収益について見ると、入院では平均4万9,188円であり、これを各診療科別に見ると、精神科が18万8,823円で最も高く、次に、心臓血管外科の15万7,404円、循環器内科の8万8,971円、救急科の7万6,323円、呼吸器外科の7万4,640円、眼科の5万7,257円、血液内科の5万5,824円の順となっている。

また、外来では平均1万6,167円であり、これを各診療科別に見ると、血液内科が4万770円で最も高く、次に、腎臓内科の3万972円、内分泌糖尿病科の3万258円、外科の2万9,886円、呼吸器内科の2万5,224円、心臓血管外科の2万4,262円の順となっている。

病床利用状況の推移について見ると、次表のとおりである。

病 床 利 用 状 況

(単位：床、人、%)

区 分	延べ病床数	20 年 度		19 年 度		全 国 平 均 (19 年 度)	
		延べ患者数	利用率	延べ患者数	利用率	全 体 利用率	同規模 利用率
一 般	185,420	153,288	82.7	154,737	83.2	77.0	85.2
精 神	18,250	12,151	66.6	14,890	81.4	72.0	72.4
感染症	1,460	0	0.0	0	0.0	3.0	5.9
計	205,130	165,439	80.7	169,627	82.5		

病床利用状況の分析は、病院の施設が有効に利用されているか否かについて見るためのものであり、病院運営上の重要な指標とされるものである。

当年度の利用率は、前年度に比べて一般病床が0.5ポイント下回る82.7%、精神病床は、14.8ポイント下回る66.6%となっている。

なお、この病床利用率を前年度の全国平均と比べてみると、一般病床は高く、精神病床が低い利用率となっている。

(6) 地域別病院利用状況

地 域 別 病 院 利 用 状 況

(単位：人、%)

区 分			入 院		外 来	
			延べ患者数	構成比	延べ患者数	構成比
東 京 都	西 多	青 梅 市	80,315	48.5	186,136	57.5
		福 生 市	10,146	6.1	16,090	5.0
		羽 村 市	18,209	11.0	39,011	12.0
		あ き る 野 市	16,795	10.2	22,662	7.0
	摩 地 域	瑞 穂 町	10,564	6.4	17,774	5.5
		日 の 出 町	4,138	2.5	5,342	1.7
		檜 原 村	1,161	0.7	1,036	0.3
		奥 多 摩 町	4,974	3.0	9,842	3.0
		小 計	146,302	88.4	297,893	92.0
	都	区 部	1,910	1.2	1,457	0.5
そ の 他		9,455	5.7	10,489	3.2	
計		157,667	95.3	309,839	95.7	
埼 玉 県	飯 能 市	飯 能 市	1,924	1.2	3,723	1.1
		入 間 市	1,413	0.8	4,403	1.4
		そ の 他	1,110	0.7	1,781	0.6
	計	4,447	2.7	9,907	3.1	
山 梨 県	1,266	0.8	1,932	0.6		
そ の 他	2,059	1.2	2,066	0.6		
合 計		165,439	100.0	323,744	100.0	

3 財政状況について

(1) 資産、負債および資本状況

病院事業の当事業年度末財政状況は、別表2の比較貸借対照表のとおりである。

資産総額は、206億666万4,921円で、前年度末と比較すると、14億2,625万1,306円(7.4%)増加している。これは、有形固定資産が建物や器械備品の増加により6億115万5,085円(4.1%)増加したこと、および流動資産が現金預金の増加などにより8億2,509万6,221円(18.8%)増加したことによるものである。

負債総額は、29億5,588万8,017円で、前年度末と比較すると、3億7,258万7,479円(14.4%)の増加となっている。これは、主に未払金が3億1,473万353円(25.0%)増加したためである。

また、資本総額は、176億5,077万6,904円で、前年度末と比較すると、10億5,366万3,827円(6.3%)の増加となっている。これは、企業債が6億5,910万6,022円(6.8%)増加したことや利益剰余金が、建設改良積立金や当年度末処分利益剰余金の増加などにより2億9,773万2,970円(17.0%)増加したことなどによるものである。

この結果、負債・資本合計は、206億666万4,921円で、前年度末と比較すると、14億2,625万1,306円(7.4%)増加している。

(2) 資本的収支不足額の補てん状況

資本的収支は、収入額が13億8,943万円で、これに対する支出額は、22億8,037万23円（消費税込み）で、資本的支出額に不足する額は、8億9,094万23円である。この不足額を当年度消費税および地方消費税資本的収支調整額206万836円、過年度損益勘定留保資金6,021万1,102円、当年度損益勘定留保資金8億2,866万8,085円で補てんした。

なお、内部留保資金の年度別推移は、次表のとおりである。

内部留保資金の年度別推移

(単位：円)

区分	内部留保資金額(使用可能額)			補てん額	翌年度 繰越額
	前年度繰越分	当年度分	計		
18	282,162,072	928,021,891	1,210,183,963	935,202,496	274,981,467
19	274,981,467	963,642,666	1,238,624,133	1,178,413,031	60,211,102
20	60,211,102	1,043,654,959	1,103,866,061	888,879,187	214,986,874

(3) 財務比率

財 務 比 率

(単位：%)

区 分	20 年 度	19 年 度	増 減	全 国 平 均 (19 年 度)
流 動 比 率	331.8	349.3	17.5	218.8
自 己 資 本 構 成 比 率	35.3	35.8	0.5	30.5
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率	80.8	82.5	1.7	86.7

流動比率は、短期債務に対して、これに必ずべき流動資産が十分あるかどうか、その割合を明らかにするための比率であり、流動資産額を流動負債額で除したものである。したがって、この比率が高ければ高いほど短期債務の支払に十分な流動資産を有していることになる。当年度は、331.8%で、前年度を17.5ポイント下回っている。

自己資本構成比率は、総資本(資本+負債)に占める自己資本(自己資本金+剰余金)の割合を示すもので、この比率が高いほど経営の安全性が高いとされている。当年度は35.3%で、前年度を0.5ポイント下回っている。

また、固定資産対長期資本比率は、長期資本(資本金+剰余金+固定負債)に対する固定資産の割合を示すもので、その比率は低いほど良く、100%以下が望ましいとされている。当年度は80.8%で、前年度より1.7ポイント改善している。

4 建設改良事業について

改修工事関係については、東西南棟機械設備改修工事、受水槽改修工事、総合情報システム電源改修工事等が行われた。

医療器械については、超音波診断装置、MRマンモグラフィーコイル、アルファマックス万能手術台、ビデオ鼻咽喉スコープシステム、胎児監視システム、生体情報モニタ、大腸内視鏡形状観測装置等を導入および更新した。

備品については、病院総合情報システム関係の備品等を購入した。

(1) 建物および付帯設備工事

工事費の総額は、7億6,545万6,100円（消費税込み）で、主なものは、東西南棟機械設備改修工事費5億8,200万円、受水槽改修工事6,720万円、総合情報システム電源改修工事6,707万4,000円、総合情報システムサーバ室改修工事1,701万円等である。

(2) 固定資産購入

医療器械購入費は69件、総額1億1,668万200円（消費税込み）で、主なものは、超音波診断装置3,431万4,000円、MRマンモグラフィーコイル955万5,000円、アルファマックス万能手術台945万円、ビデオ鼻咽喉スコープシステム766万5,000円、胎児監視システム766万5,000円、生体情報モニタ724万5,000円、大腸内視鏡形状観測装置699万3,000円等である。

また、備品購入費は13件、総額7億6,703万9,745円（消費税込み）で、病院総合情報システム7億4,307万6,960円が主なものである。

第3 要望等事項

自治体病院においては、平成19年度決算において、経常損失を生じた病院の割合が75.1%となっている。また、診療報酬が改定され、産科や小児科などに手厚い評価となったことから、診療本体では0.38%のプラス改定となったが、薬価、材料を含めた全体では0.82%のマイナス改定となった。

このような中、平成20年度の青梅市立総合病院（以下「総合病院」という。）では、黒字決算となっている。

これは、医療職員等の確保、先進医療機器の導入や医療器械の更新、病院施設の改良など、医療体制の充実に努められるとともに、機器保守委託の見直しなど経費の節減に努められた結果として、大変厳しい病院運営を良好な状態に維持しているものと考えられる。

さて、平成20年度における総合病院の決算状況を見ると、総収益は、特別利益が14.7%減少したものの、医業収益が0.9%、医業外収益が26.4%とそれぞれ増加し、3.3%の増になっている。また、総費用については、前年度に比べて、医業外費用が3.8%、特別損失が33.6%とそれぞれ減少したものの、給与費の増加などを要因として医業費用が3.4%増加し、2.7%の増となっている。

会計全体においては、事業収益額が事業費用額を上回り、前年度に引き続き本年度も黒字となったところである。

以上のような決算状況の中、改修工事や医療器械の導入および更新など医療の充実を図っている。

また、病院総合情報システムを導入し、2月から電子カルテシステムを稼働させ、あわせて外来診療完全予約制を実施している。

このほか、医療職員等の確保にも努められている。

今後もより一層、経営の能率化および合理化の徹底を図るとともに、地域医療の核として、医療の質の更なる向上を期待するものである。

次に、本年度の決算審査の中から、幾つかの要望を述べることとする。

1 外来収益について

完全予約制実施以後、外来収益が大きく落ち込んでいる。その後徐々に回復の傾向があるものの、厳しい状況にある。外来収益の減少について検証するとともに、早期に改善策を講ずるよう願うものである。

2 病院総合情報システムの活用について

患者サービスの向上や診療の充実および病院機能の強化を図るため病院総合情報システムが導入されている。当該システムを十分活用し安全で、かつ、能率的な医療体制の確立に努められたい。

3 地域医療機関との連携等について

総合病院は、西多摩の中核病院として、その果たす役割は大きい。西多摩の公立病院等と医療の分担や連携に努められるとともに、今後も安全で良質な医療の提供が継続的に図られるようお願いしたい。

別表 1

比 較 損

科 目	20 年 度		
	金 額	構 成 比	増 減 率
医 業 収 益	13,630,853,798	87.5	0.9
入 院 収 益	8,137,323,333	52.2	1.8
外 来 収 益	5,232,454,509	33.6	0.5
そ の 他 医 業 収 益	261,075,956	1.7	0.4
医 業 外 収 益	1,899,385,645	13.2	26.4
受 取 利 息 配 当 金	1,510,722	0.0	16.8
他 会 計 補 助 金	0	-	-
補 助 金	787,730,000	5.1	4.1
他 会 計 負 担 金	653,411,000	4.2	10.3
引 当 金 取 崩 し 収 入	298,599,407	1.9	皆増
基 金 取 崩 し 収 入	0	-	-
患 者 外 給 食 収 益	217,152	0.0	0.0
そ の 他 医 業 外 収 益	157,917,364	1.0	4.2
特 別 利 益	47,502,461	0.3	14.7
固 定 資 産 売 却 益	0	-	-
過 年 度 損 益 修 正 益	47,458,448	0.3	13.1
そ の 他 特 別 利 益	44,013	0.0	95.7
収 益 合 計	15,577,741,904	100.0	3.3
医 業 費 用	14,264,138,588	93.4	3.4
給 与 費	6,617,302,325	43.3	6.3
材 料 費	4,778,086,895	31.3	1.0
経 費	1,867,241,993	12.2	0.8
減 価 償 却 費	833,596,542	5.5	8.5
資 産 減 耗 費	134,673,954	0.9	423.2
研 究 研 修 費	33,236,879	0.2	27.9
医 業 外 費 用	965,520,935	6.3	3.8
支 払 利 息	208,911,619	1.4	18.4
引 当 金 繰 入 費 用	356,341,000	2.3	10.5
基 金 積 立 金	40,533	0.0	34.5
患 者 外 給 食 材 料 費	217,152	0.0	0.0
雑 損 失	400,010,631	2.6	14.5
そ の 他 医 業 外 費 用	0	-	-
特 別 損 失	50,349,411	0.3	33.6
固 定 資 産 売 却 損	0	-	-
過 年 度 損 益 修 正 損	50,323,793	0.3	33.1
そ の 他 特 別 損 失	25,618	0.0	95.9
費 用 合 計	15,280,008,934	100.0	2.7
当 年 度 純 利 益	297,732,970	-	53.0

益 計	算 書 (単 位 : 円、 %)			
	1 9 年 度			
対前年度差引額	金 額	構 成 比	増 減 率	対前年度差引額
115,178,009	13,515,675,789	89.7	1.6	217,759,105
140,029,580	7,997,293,753	53.1	0.1	11,470,403
23,750,568	5,256,205,077	34.9	5.3	264,818,044
1,101,003	262,176,959	1.7	12.0	35,588,536
397,082,506	1,502,303,139	9.9	15.2	269,472,642
217,702	1,293,020	0.0	3337.1	1,255,400
0	0	-	-	0
31,018,000	756,712,000	5.0	10.8	91,214,000
60,920,000	592,491,000	3.9	4.5	25,341,000
298,599,407	0	0.0	皆減	200,121,280
0	0	-	-	0
0	217,152	0.0	0.0	0
6,327,397	151,589,967	1.0	3.0	4,733,762
8,158,861	55,661,322	0.4	27.2	11,901,295
0	0	-	-	0
7,179,826	54,638,274	0.4	29.5	12,462,692
979,035	1,023,048	0.0	35.4	561,397
504,101,654	15,073,640,250	100.0	0.3	39,812,242
464,824,122	13,799,314,466	92.7	0.2	24,111,740
394,780,433	6,222,521,892	41.8	0.0	448,677
45,735,944	4,732,350,951	31.8	0.4	19,680,704
14,284,184	1,881,526,177	12.6	0.2	3,474,375
77,583,507	911,180,049	6.1	2.9	25,371,237
108,935,203	25,738,751	0.2	139.9	15,010,456
7,240,233	25,996,646	0.2	1.9	512,301
38,418,864	1,003,939,799	6.8	2.7	26,154,146
47,095,271	256,006,890	1.7	6.4	17,544,981
41,934,000	398,275,000	2.7	12.6	44,471,000
10,386	30,147	0.0	650.9	26,132
0	217,152	0.0	0.0	0
50,600,021	349,410,610	2.4	0.2	798,005
0	0	-	-	0
25,463,793	75,813,204	0.5	9.7	6,710,366
0	0	-	-	0
24,869,911	75,193,704	0.5	9.3	6,376,896
593,882	619,500	0.0	116.6	333,470
400,941,465	14,879,067,469	100.0	0.4	56,976,252
103,160,189	194,572,781	-	33.2	96,788,494

別表 2

比 較 貸 借

科 目	20 年 度				19 年 度		
	金 額	構成比	増減率	対前年度差引額	金 額	構成比	増減率
固 定 資 産	15,383,592,040	74.6	4.1	601,155,085	14,782,436,955	77.1	2.2
有 形 固 定 資 産	15,368,722,522	74.5	4.1	601,155,085	14,767,567,437	77.0	2.2
土 地	129,864,912	0.6	0.0	0	129,864,912	0.7	0.0
建 物	12,582,432,129	61.1	2.4	290,498,667	12,291,933,462	64.1	1.6
構 築 物	87,628,948	0.4	5.8	5,398,777	93,027,725	0.5	11.3
器 械 備 品	2,515,754,973	12.2	17.9	381,653,194	2,134,101,779	11.1	8.7
車 両	541,552	0.0	40.3	365,561	907,113	0.0	32.8
放射性同位元素	436,297	0.0	50.0	436,300	872,597	0.0	64.3
建設仮勘定	51,063,711	0.2	55.9	64,796,138	115,859,849	0.6	215.7
その他有形 固定資産	1,000,000	0.0	0.0	0	1,000,000	0.0	皆増
無 形 固 定 資 産	4,369,518	0.0	0.0	0	4,369,518	0.0	0.0
電話加入権	4,369,518	0.0	0.0	0	4,369,518	0.0	0.0
投 資	10,500,000	0.1	0.0	0	10,500,000	0.1	5.0
投資有価証券	0	-	-	0	0	-	-
長期貸付金	500,000	0.0	0.0	0	500,000	0.0	皆増
基 金	10,000,000	0.1	0.0	0	10,000,000	0.1	0.0
流 動 資 産	5,223,072,881	25.4	18.8	825,096,221	4,397,976,660	22.9	8.0
現 金 預 金	2,782,356,190	13.5	44.7	860,072,870	1,922,283,320	10.0	10.9
未 収 金	2,276,612,311	11.1	3.2	75,293,332	2,351,905,643	12.3	6.0
貯 蔵 品	158,194,020	0.8	33.7	39,876,683	118,317,337	0.6	4.6
前 払 金	0	-	-	0	0	-	-
その他流動資産	5,910,360	0.0	8.0	440,000	5,470,360	0.0	10.2
資 産 合 計	20,606,664,921	100.0	7.4	1,426,251,306	19,180,413,615	100.0	0.0

対 照 表

(単位：円、%)

科 目	2 0 年 度				1 9 年 度			
	金 額	構成比	増減率	対前年度差引額	金 額	構成比	増減率	
負 債	固 定 負 債	1,381,875,363	6.7	4.4	57,741,593	1,324,133,770	6.9	43.0
	引 当 金	1,381,875,363	6.7	4.4	57,741,593	1,324,133,770	6.9	43.0
	退職給与引当金	1,381,875,363	6.7	4.4	57,741,593	1,324,133,770	6.9	43.0
	流 動 負 債	1,574,012,654	7.6	25.0	314,845,886	1,259,166,768	6.6	2.8
	一時借入金	0	-	-	0	0	-	-
	未 払 金	1,571,734,413	7.6	25.0	314,730,353	1,257,004,060	6.6	2.8
	前 受 金	1,148,470	0.0	7.0	75,000	1,073,470	0.0	0.9
	研究研修奨励 援助経費引当金	129,771	0.0	45.4	40,533	89,238	0.0	51.0
	その他流動負債	1,000,000	0.0	0.0	0	1,000,000	0.0	0.0
	負 債 合 計	2,955,888,017	14.3	14.4	372,587,479	2,583,300,538	13.5	20.1
資 本	資 本 金	12,973,870,491	63.0	5.6	693,315,022	12,280,555,469	64.0	4.7
	自己資本金	2,591,178,691	12.6	1.3	34,209,000	2,556,969,691	13.3	4.9
	固有資本金	3,617,176	0.0	0.0	0	3,617,176	0.0	0.0
	繰入資本金	2,501,861,515	12.2	1.4	34,209,000	2,467,652,515	12.9	1.4
	組入資本金	85,700,000	0.4	0.0	0	85,700,000	0.4	皆増
	借入資本金	10,382,691,800	50.4	6.8	659,106,022	9,723,585,778	50.7	7.0
	企業債	10,382,691,800	50.4	6.8	659,106,022	9,723,585,778	50.7	7.0
	他会計借入金	0	-	-	0	0	-	-
	剰 余 金	4,676,906,413	22.7	8.3	360,348,805	4,316,557,608	22.5	4.1
	資本剰余金	2,624,708,423	12.7	2.4	62,615,835	2,562,092,588	13.4	2.5
	受贈財産 評価額	2,501,905	0.0	0.0	0	2,501,905	0.0	66.6
	寄 付 金	10,100,000	0.0	0.0	0	10,100,000	0.1	0.0
	補 助 金	2,607,036,518	12.7	2.5	62,615,835	2,544,420,683	13.3	2.4
	交 付 金	5,000,000	0.0	0.0	0	5,000,000	0.0	0.0
	そ の 他 資本剰余金	70,000	0.0	0.0	0	70,000	0.0	0.0
	利 益 剰 余 金	2,052,197,990	10.0	17.0	297,732,970	1,754,465,020	9.1	6.6
	減債積立金	9,800,000	0.1	皆増	9,800,000	0	-	皆減
建設改良積立金	1,630,000,000	7.9	12.7	184,000,000	1,446,000,000	7.5	23.6	
当年度未処分 利益剰余金	412,397,990	2.0	33.7	103,932,970	308,465,020	1.6	23.7	
資 本 合 計	17,650,776,904	85.7	6.3	1,053,663,827	16,597,113,077	86.5	2.6	
負債・資本合計	20,606,664,921	100.0	7.4	1,426,251,306	19,180,413,615	100.0	0.0	